

コミュニティスクール通信 No.5

～ 輝け子どもたち ～

2020. 8月 丸子中央小学校学校支援ボランティア



～ 丸子中央小のコミュニティスクールの現況～

コロナ禍の中で、今年のコミュニティスクールは始まりました。丸子中央小学校の学校支援ボランティア活動も2年目を迎え、「地域とともにある学校」を目指して、丸子中央小の活動は、子ども・学校・地域・ボランティア、みんなの力で進んでいます。令和2年度に入り、これまでの活動を紹介します。

コミュニティルームは再開と自粛 ～毎週 月・木曜日の二時間目休みに開設～

コロナ禍の中、今年度は6月から学校が再開し7月9日(木)からコミュニティルームをオープンしました。まず一年生を対象とし、1組から3組までのクラスごとにプレゼンをさせていただき、今年度の活動が始まりました。毎回とても楽しみにしてくれ元気なあいさつとともに来てくれました。手洗い、教室の換気、机の配置等、感染防止に気をつけながら、遊びも数種類に絞り細心の注意を払いながらの実施です。

～ ぬり絵、ペーパーフラワー、ペットボトルのストロー矢飛ばし、折り紙や紙飛行機等・・・ ～

7月は、七夕飾りを作り、短冊に素敵な願いをこめました。8月からはコミュニティ活動は自粛中ですが、今後コロナ対応に合わせながら、万全の準備をして再開できる日を待ちたいと思います。



その他地域ボランティアの活動として

見守り隊の皆さんに、毎日通学路で子どもたちの安全を見守っていただいています。



今年は、ミニスイカも収穫できました！

キュウリ、ミニトマト、ジャンボカボチャ、ナスも！

教員住宅の跡地の校庭スタンド上の畑に、臨時休業中の5月、学校とボランティアとで畑の準備作業を始めました。登校開始後の6月5日、2年生が野菜の苗を植えました。以来、毎日水やりをしてくれた子どもたち、それを補ってくださった先生方、時期ごとに誘引作業・肥料・整枝作業等で支えてくれた「あさつゆ」の方々・ボランティア、みんなの力で、野菜は大きく育ち、たくさんの野菜が収穫できました。

8月、夏休み前にスイカの収穫をしました。今後ミニトマトの収穫を行い、9月末に畑終い作業を行う予定です。



【写真】5月の畑の準備から8月のスイカの収穫まで



(後記)

コミュニティスクール通信5号となりました。

★丸子中央小学校で、コミュニティスクール活動をさせていただいて2年目を迎えましたが、今年度はコロナの影響で活動も思うようにできず活動と自粛とを余儀なくされています。5月、畑の野菜作りだけでもという英断の下に、6月の学校の再開に照準を合わせてボランティアも畑の準備を重ねました。6月から畑、7月からコミュニティルームを実施し、8月は県の感染警戒レベル状況から、また一部自粛中です。しかし、この間に準備をし再開できる日を心待ちにしています。

★今年度コミュニティスクールに携わっていただいているボランティアの仲間のみなさんを紹介します(敬称略)。

(コミュニティルーム・畑の整備) 齊藤紀子、中村敏江、北村好美、竹花のり子(コーディネーター)

(畑の整備) あさつゆ 伊藤良夫組合長、藤森たかえ副組合長、下村邦彦副組合長、高野英雄野菜部会長ほか
上田市農業支援センター 専任推進員 曲尾正彦(今年度より)

他にも多方面で地域の多くの方に支えていただき感謝申し上げます。

★丸子中央小学校のホームページには学校、子どもたちの様子とともに地域ボランティアの活動も載せていただいております。併せてご覧ください。

(竹花のり子 記)